

2021年度 在外研究制度 研究員

所属	氏名	職位	種別	期間	主たる研究国	主たる研究先	研究題目	研究報告	備考
国政	沈 承揆	准教授	長期 (1年)	2021.4.1 ～ 2022.3.31	韓国	Bank of Korea	Border Carbon Adjustment and International Trade	Global Warming and Border Carbon Adjustments(with Sungwan Hong, Ayako Obashi, and Yoshitaka Tsuruta), <i>Asian Journal of Law and Economics</i> , forthcoming	
理工	龍本 将弘	教授	長期 (1年)	2021.9.1 ～ 2022.8.31	イギリス	ケンブリッジ大学	脳科学からみた外国語学習における認知言語学的アプローチの有効性に関する研究	英語学習者対象に抽象概念の確信度や丁寧度の指導で空間概念を用いることで確信度や丁寧度を視覚イメージ化して長期記憶維持を可能にさせた。その効果と左脳右脳優位性の関係を見出すために口の開き方対称性をみる手法を適用した。高解像度カメラで録画し2次元動画計測ソフトで開口時の対称性を解析分析した。右利き参加者は口の左側が右側より広く開き、右脳関与の兆候が見られたが、外側からでは脳の活動部位を特定できなく、fMRIによる追跡実験が必要である。	